

春暖の候　ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は多大なる義援金を賜り、宮古市民を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

東日本大震災から7年となる3月11日、市では、岩手県と宮古市の合同追悼式や津波避難訓練を行いました。追悼式には震災の犠牲となった方の遺族約700人が参列し、式場は静かな祈りに包まれました。また、早朝6時からの避難訓練には市民約1,800人が参加し、災害時の避難行動を確認しながら、津波防災への意識を高めました。

当市にお寄せいただいた義援金は、被災した方々に直接お届けし、それぞれの生活再建の一助とさせていただいております。これまで多くの皆さまのご支援とご協力をいただきながら、復興への歩みを進めてまいりました。引き続き、被災されたすべての方々が一日も早く住まいと暮らしの再建を果たせるよう、支援を行ってまいります。

震災の経験から得られた数々の教訓を胸に、未来を切り開く宮古創生に全力で取り組み、後世に誇れる宮古市を築いていく所存でありますので、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、ますますのご活躍をお祈り申し上げ、御礼といたします。

平成30年4月13日

品川区長 濱野 健 様

宮古市長

山本正徳

